

---

# 刻まれた輪廻 < 記憶の旅 >

叶羽 琴璃

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

刻まれた輪廻<記憶の旅>

### 【Nコード】

N6893Z

### 【作者名】

叶羽 琴璃

### 【あらすじ】

“間違いを犯した魂は、来世でも辛い人生を過ごす”

だが、例外もある事を知っているだろうか？罪を犯さなくとも、輪廻が呪われている魂の持ち主を。

…少女の泣き叫ぶ声を。

\*この作品は以前「記憶の旅」として投稿しましたが、途中変更により削除しました。「刻まれた輪廻<記憶の旅>」としてお楽しみ下さい。

## 序章？

少女は何も見たことがありませんでした  
何も教えられませんでした

その生活が当たり前だと思っていました

ある日 始めて会った妹に全てを覆されました  
そして教えられました

家族というものを  
楽しいという感情を

妹が少女の全てとなりました

妹が 死へ向かって行く少女の生きる理由になりました  
妹が…

『目を開けると、そこは知らない天井だった』

なんていう事は無く、目を開けて見たのは見慣れた白い天井だった。  
否、訂正しよう。確かに見慣れた白だが、いつもの天井ではないの  
か。

いつも騒がしい同室の方々の声が聞こえない。  
静まり返って寒気さえ感じる。

ふと、窓の外に目を向ければいつもと違う空、景色。  
身体を起こそうとしたら、管が腕に巻きついて邪魔くさい。

……邪魔？

再び管に目を戻し、直ぐに納得した。

そうか私は

∴

「おはよう！お姉ちゃん！」

白雪が部屋に飛び込んで来て、柳は頭を切り替えた。

「お部屋変わったから迷っちゃって、人に聞いてたから遅くなちゃった」

七歳の妹、白雪はその名のとおり真つ白な心を持っている。

「おはよう、白雪」

笑い掛けたが、果たして私は笑えているのだろうか。

そんな事を思いながらベッドに座り込んだ。

「ちよつと待つてね、今飲み物出すから」

「お姉ちゃん！ゆきが出すからお布団！」

立ち上がるうとした所を白雪に怒られて渋々布団に戻る。

「あのね、ゆき、逆上がり出来る様になっただよ！」

そうやって嬉しそうに言う様子はまだ子供。しかし手際良くコップを準備して居る様子は大人に近づいていると思った。

私の知らない所で白雪は大きくなっている。

その事実には柳は悲しくなった。

「お姉ちゃん、飲まないの？」

「うん、いらないの」

心配そうに覗き込んでくる白雪にはれないよう、手を布団の中

に隠す。その腕に繋がる管は、栄養剤。

私はもう、長くない ∴

「白雪」

声を掛けると、白雪は直ぐに聞く体制になった。

「これから此処にきてはダメ、もう帰りなさい」

「イヤ！」

私の言葉に抵抗して白雪は抱きついてくる。

「いや……おねえちゃん、一人になるもん……」

その言葉に、決意が揺れた。でも、そういう訳にはいかない。

「来ないでつて言ってるの。私はあんたが嫌い、同情なんてものを私に向けないで。…迷惑なの」

「お姉ちゃん？」

「私あんたの姉じゃない」

「……ごめんなさい……」

白雪の手が離れ、私は後ろを向いた。

離れていく背中を見たくなくて。

こぼれる涙を見られる訳にも、

泣いている白雪も、

見られたくない、

見たくない。

「ごめん」

手で目を隠すように押さえる。

これ以上、涙が流れて行かない様に。

「…ごめんなさい、白雪」

ピ

ッ

電子音が鳴り響く。柳が白雪と別れてから二日後の事だった。誰も居ない病室で静かに目を閉じている柳の表情は穏やかで、

心臓が止まって仮死の状態だとは思えない。

一度も外に出ず、毎日微笑みながら眺めていた写真が、その手

の中には握られていた。

写真を撮った事がない柳は、当然入っていない家族の写真。

自分が居ない、見ているのが辛くなる筈のその写真を、とても  
大事そうに折りたたんでいた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6893z/>

---

刻まれた輪廻 < 記憶の旅 >

2011年12月23日01時48分発行